

問 29 「地区まちづくり活動」について、あなたが日ごろ感じていることやアイデアなどを自由に記入してください。

### 地域コミュニティ活動への参画について(56 件)

- なかなか参加できていないこと。 (男性 20代)
- 参加する人がほぼ固定になっているので、参加していない人を強制的にでも出したほうがよい。 (男性 20代)
- 参加はあくまでも自由にして、強制はしないでほしい。 (男性 30代)
- 5月に引っ越してきたばかりなので、まだいろいろとわからない事が多いが、今後地区に協力できるように行動できればと思っている。 (男性 30代)
- 住みやすい生活環境を整えないと活動に参加する時間や行動力が欠けると思う。 (男性 30代)
- ものすごく村社会的で住みづらい。これでは富士市外からの転入者はまた出ていってしまう。意味不明な行事も多く、参加は必須といった個人の生活を無視した活動が多い。社会をリタイアしたわけではないので個人より地域を優先した生活は不可能。どうしても個人の生活が優先となるが、理解してくれない地域の高齢者が余りにも多過ぎる。 (男性 40代)
- 小・中学校で、子どもたちへの積極的な参加の呼びかけ。PTA活動からの呼びかけ。半強制的でもよいと思う。 (男性 40代)
- 近所づきあいが希薄な現代、さまざまな行事を通じてつきあいが密になることは、防災上も、またこれからの高齢社会にとってもよいことだと思う。我が区の青年会は、つきあいが大変に密で、きずなも深まっており、若い世代が地域の行事や防災訓練などに積極的に参加している。 (男性 40代)
- どのイベント・活動においても集まる人が決まっている。 (男性 40代)
- 私は参加しない。 (男性 50代)
- 生まれたときから富士市民だが、3回引っ越しをした。それぞれの場所が住めば都なのだが、(私は全て持ち家)もともとあるアパートや新しくできたマンションやアパートの住民がまちづくり活動に参加していないことが多いと思う。大家さんのみの参加でその一棟が参加しているとなる場合もあった。その地域に在住しているのであれば、集合住宅の住民も参加すべきであると思う。大きな集合住宅の場合、その住宅が1つの班になるのも私には不可解だ。 (男性 50代)
- 隣組の中にアパート(7戸)の人がいるが、町内活動に参加しない。市民としては地区活動に参加することになっていると思うが。 (男性 50代)
- 地区の活動は活発だと感じているが、参加メンバーはいつも同じだ。新しい(若い)人たちの参加を積極的に促していかないとだめだと思う。 (男性 50代)
- 活動が昔からの顔なじみで運営されており、新たによそから移り住んでくる人たちが入りづらい状況となっているのではないかと感じる。情報も仲間内だけで共有している様子で、広くオープンにするような体制をまず構築すべきと考える。まちづくりとは関係ないが、富士市職員のあまりにも「ぬるま湯的」な体質が目につく。 (男性 60代)

## V 自由意見

- 仕事の関係で一切まちづくり活動はしてこなかった。無職になり、年金生活になれば暇になるので、認知症防止のため何か活動したい。超高齢社会が目の前に来ている現実がある。税金の無駄遣いはすべきでない。 (男性 60代)
- 人手不足やもろもろの問題から、1年365日(24時間営業)全く休めずに働いている。地域活動の際は都合を縫って参加してはいる。申しわけないが、自分たちのことでいっぱい毎日。何の余裕もないので、いろいろ思うことはあり、社会活動にも参加したいのはやまやまだが、非常に残念だ。現在はお役に立てずに申しわけないと思っている。 (男性 60代)
- 活動の必要性は感じているものの、なかなか積極的に参加するきっかけがない。 (男性 60代)
- 区長や役員は大変だが、ほかの人も生活に追われる中でなんとか顔を出しているのが普通なので、何か一つ変化が必要かと思う。 (男性 70歳以上)
- 参加していないのでわからない。 (女性 30代)
- 子育て中の世代(未成年の子どもがいる人など)は参加するのは難しいと思う。お金と時間に余裕がないとできない。 (女性 30代)
- 子育てに忙しいのにやらされるのは本当に苦痛で面倒だ！そんな時間があつたら子どもと過ごしたい。 (女性 30代)
- 小学校区とまちづくり活動の地区が一致していないため、どちらの活動にも十分参加したという感じが得られない。また参加したいという思いにもなりにくい。2年前に引っ越してきて、地域がどういう活動内容か理解できず、戸惑いを持つことも多い。以前の居住地は学校区と地域が一致しており、顔見知りにもなりやすく、一体感が得られた。富士市の古い歴史の上に成り立っている活動であると思うが、もう少し入りやすく地域との一体感を得やすい仕組みにならないだろうか日々感じている。富士市ウェブサイト、ネットを使って近隣の人に行事の都度、聞いて参加しようと心がけているが、いま一つな感じである。富士第一小学区、橋下区に住んでいる。 (女性 30代)
- 小学校を卒業してしまうとほとんどの子どもは参加しなくなる。中学、高校、大学、社会人の若者たちが参加しやすいようにしてもらえると、もっとよりよいまちづくりができると前から思っている。 (女性 30代)
- まちづくり活動が強制のようなのは、あまり意味がないと思う。家族そのもののあり方が多様化している時代なので、画一的な活動を推進するのではなく、個人が、自分のできる範囲で取り組むように、広報紙などで呼びかけたり、よい例を紹介したりしていけばよいと思う。 (女性 40代)
- 子どもがまだ小さいため、積極的に地域の活動には参加していないが、子どもが大きくなるにつれ、参加の機会はふえていくと思う。地域の活動に積極的に関わっていくことは、人間関係もあって得意とは言えないが、住民として地域の活動に参加するのは当然だと思う。また、いざというときには人のつながりが助けになるので、頑張って参加しなくてはと思う。地域がよくなれば、住民も心地よく暮らせるし、家庭も安心・安全で過ごせる。大きな単位のコミュニティがよくなることで、小さな単位のコミュニティも幸せになると思う。 (女性 40代)
- 地域活動に参加するのが高齢者のほうが多い。一家で1人ではなく2人以上の参加にし、何か参加賞的な物を出すと参加する人がふえると思う。防災訓練では、参加したという証明が必要なため、ほとんどの中学生が参加していて、若い子たちがいてとてもよいと思う。 (女性 40代)
- 町内に住んでいて、町内会費を払わないと言っている人がいる。町内でいろいろな催しがあれば参加するのではと思う。高齢化が進んでいるので、実際にはあまり参加しないという人がほとんどだ。 (女性 40代)

- 地域ごとに一生懸命活動してくれている人がいてありがたいと思う。子どもが大きくなるとなかなか活動に積極的にはなれないが、意識を変えて自分も取り組まないといけない。（女性 40代）
- 小さい子どもがいる家庭の参加をもっとふやしたいと思う。（女性 40代）
- 長年住んでいる住民と新たに住み始めた住民の間に温度差が感じられる。独身者には参加しづらい。（女性 40代）
- この地区では、年配の人たちが中心となって活動しているが、若い役員が不足しているので、若い人が今後中心となれば、ますます活気ある地区になっていくと思う。子ども会の世話人をしているが、年々子どもの数も減り、子ども会に入会する子どもも減っている。任意なので、そこが問題かと思う。基本的に入学と同時に子ども会に入会するようになれば、子ども会がもっと活発になるのに…と感じている。（女性 40代）
- 子どもが小学生のときは、役員をやっていて、まちづくりの活動もよく参加したが、それからは余り参加する機会がなくなった。家事や仕事などで時間もないので仕方ないとは思っている。まちづくりセンターは友人たちとの食事会などに使用できるとよいと思う。（女性 40代）
- 順番で地区の団体活動に参加している。月1回の定例会、年4～5回のイベント活動は、時間的に負担が大きい。地元のアンケートで、運動会を廃止すべきだという意見が半数以上もある現状を踏まえ、「地区まちづくり活動」は、防災などなるべく内容を絞るしかないと思う。（女性 40代）
- まちづくり活動に参加するのはよいことだと思うのだが、地区、町内ごと住民が減少している中、まちづくり活動が半強制的になっているところが負担になっている。（女性 50代）
- 私の住んでいる所は、昔から住んでいる人の多い地域で、近所との結びつきが比較的強い地域なので、それを代々引き継いでいる。仕事が忙しく、役員が回ってきたときは、仕事を休んで活動に参加しているが、普段はなかなか参加できない。活動のために仕事を休むのもつらいので、役職の数は少ないほどありがたいというのが本音である。しかし、地域の活動に参加するときは（去年は祭典委員が回ってきた）目いっぱい頑張って活動し、地域の方々との交流を深めつつ楽しんでいる。ただ、役員になっても出てこない人も結構いる。仕事などで出られないのだとも思う。新しい役職や組織をつくっても、やってくれる人を探すのが大変である。地域の役割をふやさないでほしい。（女性 50代）
- 仕事の都合上、土日・祝祭日は休めない。夜間が仕事のため日中は大変である。平日（休日）に何かできたらと思うが、働く主婦は休日にも疲れている。要介護者も2名いるので、無理に参加するつもりはない。いろいろな事情がある人もいると思う。私の住んでいる所は無理強いせずすんでいるので助かっている。近所とも仲がよいのでお互いに助け合っている。（女性 50代）
- 私の住む地区は定年をした60代の人が役員などをなかなか引き受けてくれない。働いている人は夜19時からの会合などにはなかなか出席できない。また災害があったときも勤務先に行かなければならず、役員を引き受けても地域での活動は不可能である。市の職員、もしくは地域の小中学校の教師など、公的関係者の積極的な参加を期待する。（女性 50代）
- 私個人も含め近所の人たちが高齢化してきている。自分の生活を支えるのが手いっぱい、 “地区のまちづくり活動” というイメージが結びつきにくい現状がある。（女性 50代）
- 夫婦とも医療従事者であり、夜勤、当直など忙しく働いているため、地域の役員など順番で回ってきたときは、調整してなるべく参加、協力している。定年になり、自分の時間が自由になったら、積極的に地域活動に参加していきたい。地域では長年防災委員を任されているが、実際の災害時に職場にいたら、職場優先が当たり前なので難しいところだ。（女性 50代）
- 親に任せきりでほとんど出ていないので、答えようがない。（女性 50代）

## V 自由意見

- 若い子育て世代の皆さんに地域の活動に楽しく参加してもらい、地域を好きになってもらえるように柔軟な受け入れ体制が必要だと感じている。 (女性 50代)
- まちづくり活動により、安全で住みよいまちになるように一人でも多くの市民が参加、協力していけるとよい。 (女性 50代)
- 子どもが成長するとともに（言いわけだが）地区まちづくりへのかかわりが薄くなり、まちづくりと言われてもすぐに意見が出てこない。まちづくりを推進しなくても、地区で花を植えたり、清掃をしたり、子どもたちに声かけをしたりしている所はたくさんあると思う。そのような活動に光を当て、支援したら（金銭ではなく必要な物）よいと思う。地道にコツコツと取り組んでいる人たちには頭が下がる。 (女性 50代)
- 駅北から駅南に引っ越して5年弱、まだ余り地域の事がよくわかっていない。マンション住まいのため、周りの人とおつき合いもない。昨年マンション内の役員をやり、少し地域の活動にも触れた。 (女性 60代)
- 活動に参加したことがなく、よくわからない。 (女性 60代)
- 多々ある行事に市内の中高生以上の参加を促し、若年層のアイデアを大いに出してもらい、私たち高齢者層をもっともっと引っ張って行ってほしい。我が家の息子たちは二人とも東京なので…いざというときに、若い力が欲しい。 (女性 60代)
- 仕事や介護に追われ興味があっても出られない。今は時間がつくれぬ。別世界のこのようだ。 (女性 60代)
- 私自身が重度障害者のため、行動の自由がきかず、何の活動にも多くは望めない。 (女性 60代)
- 集合住宅に住んでいる人は、地区の活動に消極的な人が多いように感じる。 (女性 60代)
- 現代はまちづくり活動によって高齢者の楽しみが多くなった。来年もまた元気にまちづくりセンターに通って、暮らしていきたいと思う。 (女性 70歳以上)
- 私は高齢者で障害者になってしまった。若い頃はいろいろなことをやってきた。今若い人の活動が少ないと思う。もっと若い人の力を生かしてほしいと思う。そして若い人を頼りにしたいと思う。 (女性 70歳以上)
- 75歳以上の人は地区まちづくり活動に参加することは少ないと思う。 (女性 70歳以上)
- 足腰が悪いため、活動に参加しにくい。高齢なので車もなくまちづくりセンターまで歩いていけない。タクシーを利用している。 (女性 70歳以上)
- 企業を定年した人たちがなかなかまちづくりに参加してこない。優雅に暮らしている人が多いはずなのに、顔が出てこないことに残念な思いがする。町内会長は高齢者しかいないと決めつけず、地域に出てきてもらうにはどうすればよいか。役員が回ってきても、どうもやらされ感が強い。 (性別不明 50代)
- 参加していないので特にない。 (性別不明 70歳以上)
- 松野地区が、年齢層のバランスがよい地域になればと思っている。 (性別不明 年齢不明)

## 地域コミュニティ活動の活動内容・役割について(44件)

- 現在、仕事中心でほとんど参加できていないため、健康を考える会など、体調管理方法を指導してもらえる会合には参加していきたい。(男性 40代)
- 地区の体育祭など、参加人数が少ないのに継続する必要性がわからない(住民同士のコミュニケーション目的にもなり得ないと思う)。現在の少子高齢化に合わせた行事の見直しが必要だと考える。また、美化運動は市で行うとか、今の時代、市の職員が役割を補完していくことも必要だと考える。(男性 40代)
- 高齢者がふえて児童が減っているので、高齢者は運動会や地区活動をしたがるが、子どもが少ないのでバランスが悪い。(男性 40代)
- 私は大淵に引っ越して10年ほどたつが、町内のイベント(運動会やレクリエーション等)に参加したがる人は昔から住んでいる人ばかりで、一方よそから来た人や、忙しい人は参加したがる傾向があるとみている。それは、昔から住んでいる人たちが「ここは昔からそういう仕組みだから」という一点張りで、変えようとしないうちに原因があると思う。今は昔と違い共働きの家庭が多く、その一方で若い人たちの意見も聞き入れないようでは、いずれ活動もなくなると思う。何が必要で、何が不要なのか。そこを変えていかないと、世代交代はできない。(男性 40代)
- 災害に対しての意識も低いが備蓄品を用意している人が少ない。地区で防災訓練等をふやしていくことを望む。(男性 50代)
- 他人との接触を大切に“役立ちたい”と思い勉強。ボランティア会とか直訳ボランティアがあれば参加してみたい。(男性 60代)
- 自主防災について、3町内で各町内会が実施している防災訓練を、年に1度でもよいので(例えば9月1日総合防災訓練)3町内合同で実施できたらよい。そのほうが実態に合うものと思っている。(男性 60代)
- 地域行事を精査し、参加してよかった!と思える行事にしていくことが大切。例えば、高齢者はいろいろな行事に参加し、比較的多忙な毎日のようだ。(男性 60代)
- 私は富士市に居住して30年くらいだが、もともと工業都市なので、住民の出入りも多いかと思われる。富士駅北地区も保守的な地域らしく、進歩的な意見などを取り入れる時代にもかかわらず、そのスピードが鈍化しているようだ。私が住んでいる富士町も高齢者が多く、商店街も非常に暗い感じがする。手を打つには遅過ぎで、半分諦め気分である。(男性 60代)
- 私は原田地区に住んでいるが、この地域の課題が何かはわかっていない。行政がさまざまな仕事をしてきていると思うが、何をやっているかがよくわからないのが現状である。私がお世話になっているのは、廃棄物・水道ぐらいと思う。これからは高齢になっていくので、皆が気軽に集まれる場所を多くつくる必要があると思う。(男性 60代)
- 行政・地域住民からボランティアを募り、弱者救済グループをつくり、各地区に置いて24時間体制をし。現在、消防・水防団など、民間も行政も、実際の役には立たない。特に高齢者などの避難は地域に任せているだけで、行政は何もしない。(男性 60代)
- 町内会連合会活動の活性化。(男性 70歳以上)
- 月一回地域ごと(小さい区域)に災害防止、地域の防犯対策、外灯の数、道路事情などを話し合う会合を持ったらよいと思う。小さい組織でのまちづくりセンターの活用を図る。(男性 70歳以上)

## V 自由意見

- 「まちづくり」といっても、どういう「まち」がよいかは十人十色。具体的な大きな目標をつくるなら、それなりの専門家が必要。普通の人が普通に生きていくには、難しく考えずに、簡単に参加できて、防災・安全・利便などを検討し、実践できれば、それでよいと思う。（男性 70 歳以上）
- 一般市民をいかに動かして、活動するかである。ぜひ、我々高齢者を導いてほしい。（男性 70 歳以上）
- 避難タワーの設置。避難訓練の実施（町内）。自主防災組織の充実と活性化。避難ビルの充実とPR。（男性 70 歳以上）
- 外国人と日本人との住民交流の場がもっとあるとよい。例えば、小学校や中学校へ行くときの手続きや、プリントの解説の補助など、先輩保護者による手助けや声かけなど。（女性 20 代）
- 「キンダー・フィルム」という子ども向けの映画祭を開催している法人を知っているか。こういった地域でのイベントを1つでもふやして、交流の場を少しでもふやしてほしい。地域で行うのは、毎年恒例のものが多く、でも、たまには違うものを作りたいと思う。もちろん、防災や地震対策も大切だが、女子駅伝などもこれから伝統的になっていくと思うので、選手の紹介やチームの紹介などをもっとして、応援したくなるような広報をしてほしいとも思う。（女性 20 代）
- みんな仲よくて、安全なまちにしたいと思う。ゴミ拾いをもっとやったほうがいい。イベントをもっとやりたい。市をもっと活動的にしていきたい。高齢者が1人寂しくないように高齢者のことを考える何かをしたい。（女性 20 代）
- 体育祭などで暑いときに練習に出るなどは、高齢者には負担になり大変だと思う。必要がないと感じる。それより美化活動で近所の周りに花を植えるなど、忙しい毎日の負担にならない、そして近所の高齢者から若い人までが楽しんで出られる簡単なものにするべきだと思う。（女性 30 代）
- 地域の行事が多く、結構大変だった。富士市はどこも活動が盛んだと聞き、住民も協力的な人が多いと感じる。参加者が減少傾向だというのも意外。今まで住んできた場所ではこんなにも人は集まらないと感じているので、富士市民は地域に対して関心が高い人が多いと思っている。あくまでも個人的に思うことだが、区費が高い。（女性 30 代）
- 町内会（区）活動について、区の高齢化が進み、祭りや防災活動などへの役割を依頼されることがふえている。サービス業のため、土日は仕事を休んでまで参加せざるを得ない現状だ。公園清掃やごみ当番も含め、代行サービスがあれば有料でも利用したいと思う。（女性 30 代）
- 子育てが終わり、第二の生きがいを見つけ出す、40代・50代の豊富なコミュニティや、勉強場所を提供してほしい。女性、男性、環境によって違うが、同年代の新しいスキルアップ、新しい役目を生かせる何か欲しい。特に主婦。60代～70代とはまた違う。（女性 40 代）
- 町内会や子ども会、生涯学習などの地区の活動が大切で、必要だということは理解しているが、昔と違い仕事をしている人が多いため、平日の活動や、休日でも行事が続くと負担を感じることもある。子ども会の役員をしていたときも、土日にクラブチームなどに入っている子どもが多く、参加者を集めるのに苦労したことがあった。昔から続く活動ではあるが、現代に合っているのかと疑問を持った。しかし地域とのつながりや、他学年の子どもたちとの交流などよい面が多いことも事実。（女性 40 代）
- 地区の運動会は必要ない。楽しい・楽しみと言っている人を知らない。みんな苦痛に感じている。運動会に出たくないから、その他の活動にも参加しない（できない）。（女性 40 代）
- 仕事をしているため、なかなかまちづくりの活動に参加できないが、自分がスキルアップできるようなことがあればよいなと感じている。（女性 40 代）

- 高齢化および就業の形態（土日勤務）などにより、参加できないことが地域内差別や特定者への負担増につながるため、地域活動（運動会など）の見直しが必要であると思う。また、行政として本当に必要なこと（補助金含め）を、仕分け・選別する必要があるのではないかと。ますます進む少子高齢社会を見据えた取り組みが必要だと思う。（女性 40代）
- 急速に高齢化・過疎化が進んでいる。家族構成や生活スタイルも20～30年前とは大きく違う。何かの行事の都度「昨年は…」「以前は…」とか、過去のやり方を踏襲しようとする意見が通りがちだ。年齢構成から、体力的に負担の多い行事（河川の草刈りなど）は、多少の考慮・配慮が必要なのは。（女性 40代）
- 高齢者が、最寄りのまちづくりセンターまで行くには遠いので、車に乗れない人は行くことができないという話をよく聞く。私も都合がつけば送迎を買って出ているが…。高齢者で、地域活動に参加を希望していても、交通手段がなくて集合場所まで行けないこともあるようなので、そのあたりがなんとかなれば、参加できる人がふえるかもしれない。若い人たちは、学業・仕事・子育てなどに追われ、なかなか参加する機会がないようなので、高齢者が興味を持った活動なり、経験なりを生かした活動ができるように希望する。（女性 40代）
- 子どもの通学路についてだが、学校の近くに比べて畑や家が少ない地域は、危険な場所が多い。街灯が少なく夜は車でも怖い場所が多くある。パトロールをもっとふやしてほしいと思う。（女性 40代）
- いろいろな人がばらばらに頑張っても目立たないので、まとめられるともっと大きな力になるのではないかと。（女性 50代）
- 地震のときの地域での避難の仕方など、もう少しきめ細やかな活動があるとよいと思う。日ごろから同報無線も大変聞き取りにくく、正確な情報が得られるかどうか不安だ。高齢者がいる世帯なので、安全な場所まで連れて行けるかどうか不安である。（女性 50代）
- 高齢化が進み、運動を取り入れた体操教室、例えば小学校に6時に集合して、ラジオ体操を行い、運動場を5周くらいウオーキングしたりする（毎週土日限定でも可）。防災訓練は年2～3回だけなので、毎週土日だと、月8回は顔合わせができ交流にもなる（夏休みに子どもと一緒にラジオ体操をするとか）。（女性 50代）
- 近くの住民同士が顔を合わせられるようなイベント（フリーマーケット、バザーなど）がもっとあればよいと思う。大人も子どもも楽しめて、近所の人となりや合えば、災害時等ももっと協力できると思う。見知らぬ人よりも顔見知りの人を、いざというときは助けようと思うので…。（女性 50代）
- 段ボール製のトイレを各家庭でつくることはできないだろうか。防災用品などの講習会を開いてほしい。リタイアした人が多くいると思うので、知恵を出してもらい、富士市を動かしてもらいたい。（女性 60代）
- 今の行事では役員になったときに仕方なくやっている人がほとんどで意味がないと思う。これから60代以上の暇な人間がふえるので、昔に返って、勉強したいと思う気持ちの人が多くなると思う。私たち高齢者が学べる学校をつくってほしい。楽しくてワクワクするアイデアだと思う。（女性 60代）
- ゴミの集積場に午前7時から8時までひとり20分ずつ立つ当番が、1年に1、2回まわってくるのが数十年続いている。ゴミを回収車が持ち去った後の掃除は苦にならないが、特に冬の寒い朝、震えながら立っているのはつらいものだ。別に強制的なものではないが、当番として回ってくるのは今でも続いている。（女性 60代）

## V 自由意見

- 体育祭を行わないようにしてもらいたい。ふるさと祭りと文化祭だけでよいと思う。  
(女性 60代)
- 私は足腰が悪く活動できない。私が市の情報を知るのは広報ふじ、回覧板、市民暮らしのカレンダーである。夫は月1~2回はまちづくりセンターを利用し、スポーツ講座や囲碁などを楽しんでいる。高齢者がグループ活動をできることはとてもすばらしいと思う。  
(女性 70歳以上)
- 地域コミュニティの定義は何か。大きな町内(500世帯以上)単位でのまちづくりセンター活動では、独自性が育ちにくいと感じている。私は町内活動で細々と「出会う」をテーマに活動している。20人弱の会だが、自身の持てる能力の範囲で、みんなではつらつと活躍している。町内活動をする中で、高齢者も中高年も「人と出会いかかわりたい」と潜在的に思っていると感じている。しかしそれに一歩踏み出すきっかけがない。出会えないでいると感じる。興味・趣味に通じる企画・計画の立案がこちらを向いてもらえる近道かと思うが、それには人材と資金が必要。地区まちづくりセンターの活動も大切だが、それと同時に、もっと小さな単位でのきめ細かい取り組みが功を奏するのではないかと感じる。  
(女性 70歳以上)
- 地区で空き家があるところの管理をもう少し考えてほしい。近くの人は相当迷惑である。草、虫、その他回覧物など、地区を回って見る人を配置してほしい。  
(女性 70歳以上)
- 行事というと祭日や土日で、我々のように働いている人は参加できない。第3日曜日は家庭の日とあるのに、行事があることはほとんどない。  
(女性 70歳以上)
- 先日、松林の公園でグラウンドゴルフを行った。小さな地区だが、高齢者から子どもまで地区の半数の人が集まった。班長、役員さんでカレーをつくり、皆でわいわいと外で食べるなど楽しいときを過ごした。「またやってほしい」と好評だった。年代を問わず、型にはまらず、気軽に参加できたことがよかったと思う。私もそうだが、皆さん声をかけてくれるのを待っていると思う。  
(女性 年齢不明)
- 子どもが伸び伸びとテニス、バスケット、サッカーができる、運動ができる公園が欲しい。子どものことを考えたまちづくりであってほしいし、少子化にならないように大人が賢く配慮すべきだと思う。将来の事を考えたまちづくりをしてほしい。子どもが住みやすいまちにしてほしい。  
(性別不明 年齢不明)

### 地区まちづくりセンターの運営について(49件)

---

- 地区まちづくりセンターの存在感が薄く、何をしているのか知らない人のほうが多そう。若い人は興味なさそう。  
(男性 20代)
- 地域の困りごとなどをいつでも誰でもが書き込めるような目安箱のような機能をウェブサイトや各まちづくりセンターへ置く。取りまとめは、まちづくりセンターや生涯学習役員が行う。  
(男性 40代)
- まちづくりセンターに毎月利用申請するのが面倒。富士駅北まちづくりセンターの駐車場が狭い。  
(男性 40代)
- まちづくりセンターでやっている遊びの団体はいらない。ただで使っているのはおかしい。証明書が出るのはよい。手続はできないと聞いたので、できるようにしてほしい。地域の役員が自由に優先して使えるようにすべき。お菓子づくりなどは料理教室へ金を払って行けばよい。税金の無駄。そうすれば立派な建物は要らない。鷹岡・駅北とか大きなまちづくりセンターは不要。遊びの団体は民間に任せればよい。  
(男性 40代)

- 利用している人も多いと思うが、何か入りにくい印象だ。オープンな感じでちょっとお茶でもしていききたいなど思える場所であってほしい。建物の感じもかたい。(男性 40代)
- 地域に対して、センターが小さ過ぎる。自分の家から遠く感じるので、活動（特に趣味）に参加したいと思っても続かなさそうで、今後参加したいと思っても考えてしまう。(男性 50代)
- 地区まちづくりセンターは必要ない。他に予算を振り分けてほしい。(男性 50代)
- 利用しづらい。証明書発行（市役所に行ってしまうが）以外、何があるのだろうかという感じだ。(男性 50代)
- あまり知らないのが正直な感想。まちづくりセンター主催の講座の内容をもっと充実させ、いろいろな人が出入りし、気軽に利用できるようにしてほしい。(男性 50代)
- 地域の経済活動が活発になるように、営利、非営利を問わず、利用料金は無料にしたほうがよい。(男性 50代)
- 各地区にまちづくりセンターという、よいものがあるが、それをその地域でうまく活用できればと思う。役員をやっているれば活用する機会が多いが、一般の人はなかなか利用しないのが現状ではないか。以前ある役員をやっていた関係から、そんな気がする。難しいが、気軽に活用できるまちづくりセンターを期待する。(男性 60代)
- 某地区まちづくりセンターの市職員担当者は閉鎖的であった。小学生の趣味の集まりだったが、半分も集まっていなかったのに、その小学校区以外から申し込んだところ、断わられてしまった。別のまちづくりセンターではOKだった。全てのまちづくりセンターが実施できない子ども対象の募集事業は、もう少し柔軟に対応してほしい。(男性 60代)
- イベント、福祉活動、民政状況の説明などのほか、各講演会の開催にて、地域の活性化をはかる（まちづくりセンターの活用について）。(男性 60代)
- 市職員の再就職の出先機関にならないように。(男性 60代)
- ごみの削減を主目的に「譲ります」「譲ってください」コーナーを設けて、可能な限り写真つきでリサイクルコーナーがあったらと考えている。また、富士ニュースなどの地方紙を購読していない世帯も多いと思うので、「お亡くなりになりましたコーナー」も設けたらよいのではないかと。まちづくりセンターのそれぞれの稼働率を知りたいのだが、富士市ウェブサイトのどこに載っているのか。各センターの部屋は80%以上稼働しているか。(男性 60代)
- 市の財政状況やマイナンバー制の導入を考慮し、現行のまちづくりセンターは廃止すべきである。改善の方向としては、職員が常駐するのは、合併前の4市町につき1か所の中核公民館の設置で十分である。現在学区ごとに設置されているまちづくりセンターは、住民の自主運営や特定の日に職員を派遣する形態とする。老朽化のため新設する必要がある場合、小中学校などへの併設やほかの地区との統合を積極的に推進する。今のまちづくりセンターは前の市長が何も考えず人気取りのために設置したもので、もう一度もとから検討すべきである。(男性 60代)
- センター長により、利用しやすい年とそうでない年とがある気がする。(男性 60代)
- まちづくりセンターの職員の協力不足が一部みられる。(男性 60代)
- 地区まちづくりセンターという施設そのものを全く知らなかった。選挙のとき、投票所になっていて初めて知った。(男性 70歳以上)
- いつもまちづくりセンターには何かとお世話になっている。今後は窓口を拡げ、職員を増員し、地

## V 自由意見

- 域と中央、市とのパイプ役として頑張ってもらいたい。 (男性 70 歳以上)
- 一部の人たちが自由に使用しているように思う。 (男性 70 歳以上)
  - 高齢時代になり、地域の住民が気軽にセンター内で談笑できるような機会がほしい。より地域につながりが強まり、ひとり暮らしの人たちも出かけて会話することにより、災害時などでも声かけや援助をすることができるのではないかと思う。デイサービスなどを利用するまでもない人たちの気分転換にもなり、健康面でもメリットがあると思う。近所の高齢者が昼間ぼんやりしている様子を見ると、自身の近い将来が心細くなる。 (男性 70 歳以上)
  - 料理教室やヨガ体験などに参加できる人数をふやしてほしい。 (女性 20 代)
  - まちづくりセンターの講座は日ごろ利用させていただいている。夜間の部など社会人がもっと利用できる時間帯の講座をふやしてほしい。もっと気軽に利用できるようにいろいろなイベントを主催してほしい。 (女性 30 代)
  - 選挙以外、ほとんど行かない。子どもが3人いるので「読みきかせ」や「図書館」に行きたいと思っているがなかなか機会がない。子どもたちがうるさく、ほかの人の迷惑になると困るので連れていけない。余りうるさくするとやっぱり迷惑だろうからと悩んでいる。 (女性 30 代)
  - 小さい子どもや高齢者がのんびり過ごせるような施設（公園のみだと未成年のたまり場になってしまいそうなので…）をつくってあげてほしい。施設の中に中庭として小さい公園をつくるだけでも、子どもたちを連れてお母さんたちが来やすいと思う。 (女性 30 代)
  - 富士駅南まちづくりセンターで小規模でよいので図書貸し出しサービスをしてほしい（絵本、子ども図書だけでもよいので）。 (女性 40 代)
  - 子どもが小学生のうちにはまちづくりセンターの行事と一緒に参加させてもらっていたが、中学生になるとまちづくりセンターに行くこともなくなり、何をやっているのかよくわからない。 (女性 40 代)
  - まちづくりセンターでは各種書類の発行をお願いできるのでとても助かっている。 (女性 40 代)
  - 生涯学習推進会の情報を回覧板で見ることがあるが、研修旅行やパターゴルフなどのイベント参加の記事が掲載されていて、地区まちづくりに何が返ってくるのか不思議に思うことがある。 (女性 40 代)
  - 出入口の段差の解消、スロープの設置（選挙のときも含む） (女性 50 代)
  - 利用する人には便利であろうけれど、なかなかきっかけがなく利用する機会がない。子どもが小さい時分には幾たびか利用したが、子どもが成長し、日中も仕事をしているとほとんど行く機会がなくなった。イベントでも古くからの住人以外は入りづらいところがある。参加したいと思っても入りづらい。きっかけを見つけないと思っている。 (女性 50 代)
  - 富士市に住んで 12 年目になるが、まちづくりセンターで行われる様々なカルチャー教室などのパンフレットがあることすら知らなかった。今回、人から聞いてそのパンフレットをもらったが、すでに今年度の申し込みが終わっていた。市民全員に配布されることはないようだが、手に入れる方法はあるのか。直接まちづくりセンターに行って手続きをするのか。 (女性 50 代)
  - 外国人との交流や英会話教室。外国人観光客へ一般家庭での宿泊提供。 (女性 50 代)
  - バリアフリーなど設備の充実をはかって誰もが集まってきやすいような場所をつくってほしい。 (女性 50 代)

- まちづくりセンターの予約の取り方が気になる。開館前から多数の人が順番待ちをしている。  
(女性 60代)
- いろいろな行事に参加する人は大いに参加し、十分に利用していると思う。参加しない人は参加しない、また参加したいと思っても抽せんで参加できないなど、不満に思うこともある。限定で参加者を募る場合、前年利用した人は、今年は参加できないようにしてほしい。初めての人が入り込めないというのはおかしい。  
(女性 60代)
- 各地区によって各種いろいろなイベントがあるがとても楽しみにしている。  
(女性 60代)
- 手数料を払うので、証明書1通をある所にFAX送信してほしいとお願いしたところ、富士市ではできないと断固として受け入れてもらえず、大変困った。それでも市民のための市役所、まちづくりセンターなのか。  
(女性 60代)
- 誰でも気軽に参加できるような活動づくりをしてほしい。講座の内容によって、人数制限があるようだが、もっと緩和してほしい。  
(女性 60代)
- まちづくりセンターは、何かの催し事に行くのではなく、気軽に立ち寄れる場所になったらよいと思う。“サロン”のような…。パン作り教室とか洋服のリメイク教室とか、体の不調などを気軽に話し合って（例えば、「どこどこの病院でそういう病気の相談に乗ってくれるよ」など）。とにかく、生活に潤いを持てるような情報や教室を開いてくれたらうれしい。みんなが幸せを感じる地区まちづくり活動をしたい。富士山に見守られ、日本一幸運なまち・富士市に今生活できていることに、感謝できるよう一人一人が手を携えていきたい。  
(女性 60代)
- 何かをしてあげるサービスではなく、地域が欲しているものを助けるサービスを目指してほしい。  
(女性 60代)
- まちづくりセンターが地区住民の寄り合い場所になるとよい。そのためには出入りしやすく、居場所がある環境、雰囲気が必要であると思う。高齢者、障害者、子どもたちが集うコミュニティの場所として、人と人とのきずなが深まるとよいと思う。  
(女性 60代)
- 地区まちづくりに参加したくない人は〔問21〕にほとんど関係すると思う。地区にある公会堂を利用して、行政が出張して身近に参加できるようにしてほしいだろうか。  
(女性 70歳以上)
- 平日の日中の災害時は、地区（家）にいるのは高齢者と社会弱者が多いと思う。平日地区にいる役員や老人会に協力をしてもらって活動も必要だと思う。家に閉じこもりがちな高齢者は認知症になる確率が高く、医療費が上がり自宅療養もできなくなる。それを避けるためには、センターまで行くのが大変な人でも地区の公会堂へは行ける人が多いと思うので、センターで待つのではなく地区公会堂へ出てまちづくり活動をしてほしい。例えばつまずき予防の運動など。センターでの活動では、常に同じ人が参加していて入りづらい。もっとたくさんの新しい人が参加しやすい方法で募集をかけてほしい。また「田子浦荘」も同じような気がする。なぜ、サロンを地区の公会堂でやるようにしないのか。公会堂を使えば誰でも参加できるのに、個人や家庭では仲間しか参加できないではないか。その点がサロンを知らない人が多い理由だと思う。個人的なサロン利用は仲間同志の集いで、税金の偏った使い方ではないのか。地区公会堂でサロンをやったり、手遊びや、センターからの出張講話や軽い運動、脳トレ等、老人会にも協力してもらい、老人会に入っていない人でも参加自由なサロンを公会堂で開くとよいと思う。  
(女性 70歳以上)
- まちづくりセンター主催の講座は夜が多いので昼だと参加しやすい。  
(女性 70歳以上)
- まちづくりセンターには以前友人のお供で一度だけ行ったことがあるだけで、どのような内容かあまりよくわからない。  
(女性 70歳以上)

- 地区まちづくりセンター行きのバスに、時間帯を合わせてほしい。車の乗り合わせはお互いに気を使うので、バスが使えれば高齢者でも学習に向かうことができる。 (女性 70歳以上)
- 防災、運動、趣味、芸術、講演、料理と教養も身につけられ、幼児から高齢者まで気兼ねなく、多様な機能発展のため使用できて、地域の人々が生き生きと暮らせる唯一の場所としてありがたいと思っている。 (女性 70歳以上)

## 行政の対応について(40件)

---

---

- 市の職員、議員など、お金に関する話題になると、取り上げられるのは大きな地区ばかり。自分に関係の少ない地区のことは考えていない。後回しになることが多いため、活動にも限界がある。市として、各地区を盛り上げたいのであれば、各地区に対して最低1人の住民、または関係者を市の職員としてかかわりを持つようにできないだろうか。 (男性 20代)
- 市営のフットサルコートを設置。24時間運動できる場所の確保 (運動公園など) (男性 20代)
- 公園の充実化はコミュニケーションをとる機会を広げると思う。小さい公園ではバスケットゴール、ミニサッカーゴール、大きい公園ではパターゴルフコース、走りやすいランニングコースなど。 (男性 30代)
- 「地区」が住みにくいのか「市」が住みにくいのか。市街化調整区域があるから住みにくい。「住民主体のまちづくり」などというなら、行政にもっとしっかり頑張ってもらいたい。 (男性 30代)
- 現在橋下地区に居住しているが、回覧板で閲覧する情報が岩松地区に限られている。実際富士第一小学校区で育ってきた妻には、生活エリア以外の情報となるため、富士駅北地区の情報がほしいと思っているのだが、マッチしていない。今後は、回覧する情報も選択できるようにしてほしい。まちづくりセンターの情報についても、わかりづらいので、市のウェブサイトに掲載していることを定期的に開示するなどしてPRしていくとよいと思う。 (男性 30代)
- 公園が少ない。公園が暗くて汚い。街灯が少ない。 (男性 30代)
- 町内会長などの役員は、報酬が少なかったりなかったりするわりには仕事が多いため、なり手がいない。ゴミ集積場所でカラスによる被害がどこも多いはずなのに行政が対策をあまりしていない (美化活動につながる)。 (男性 40代)
- 人口減少 (まちの活力低下) の懸念を払拭するためのインフラは、“住みたいまち”づくり。住宅地区の道が狭いと住みにくいので、道路の整備が大事だと思う。側溝など危険な場所が多いので改善してほしい。教育は、大学の誘致。富士市の子どもたちは大学進学に伴って市外に出てしまうので、富士市に定住できるような有力私大の誘致や公立大学の新設ができればよいと思う。観光は、観光客が来たいと思う商店街づくり。浅草の浅草寺風、清里のようなメルヘン系や京都のような風情系など、富士市にお金を落としてもらえるような商業エリアがあるとよい。 (男性 40代)
- 市民課窓口の休日対応が毎月第1日曜日のみ、しかも市役所のみというのはあまりにも不便。休日の受付日の増設、あるいは地区まちづくりセンターでの休日受付を検討してほしい。 (男性 50代)

- 富士市のまちづくりのビジョンがしっかりできていないのではないかと。先月新聞に「マリンプールのウォータースライダーが、塩害の腐食がすすんで修理に多額の費用がかかるため、修理しない」と載っていた。海の近くに作れば、塩害が出るのは誰でもわかるのではないかと。予想できると思う。そして教育プラザができたが、市役所からは離れている。富士市内をゾーンに分けて、商業ゾーン、運動ゾーン、福祉・教育ゾーンとして（もちろんブロックでもよいが）、市の施設を集中することで各施設を有効利用できるようにしたらどうか。全国には成功している市があると思うので、今からでも遅くない。「富士市はこんなまちにするためにこんなことをしている、そのためにいろいろなゾーンに分けて集中している」と、市民にわかるように情報発信したり、説明したりできたらよいと思う。（男性 50代）
- 地区にまちづくり協議会ができたが、行政が中心となってつくったものという意識が強い。住民が主体となつての活動が基本ではないだろうか。現在、富士市は青年の活動が弱体化している。地域をつくっていくのに若い力がもっと必要だと思う。青少年といっても、市は少年に力を入れているだけではないか。何か工夫はないのか。（男性 60代）
- 吉原地区は祭典（祇園祭など）で、町内同士、町内の人材のつながりが大きい。行政は伝統的な祭りを資金面でバックアップしてもらいたい。そして活発な祭りになりたい。宗教的だから支援しないといった概念は捨ててもらいたい。（男性 60代）
- 駅前商店街の活性化。公共施設を駅前周辺に集中させ、人の動きをつくる（例：市役所、病院）。大型店舗に負けている。映画館の設置。富士宮市にあって、なぜ富士市にないのか。人口は26万都市でありながら。（男性 60代）
- ペーパーレスの方向へ進んでほしい。広報紙を少なく、回覧物を少なく。そのためのインフラ整備が大変だが時間と年月をかけて計画的にインターネットを利用していく。与える情報から求める情報という状況づくりが大切（テレビとITの結合）。（男性 60代）
- 役人は、役人的発想しかできなくなる（自己保身、予算消化、知人・親類などへの便宜等市民のためにならない職員が年齢とともに多くなる）。地区〇〇活動という名のもとに役人がふえるのは、市民にとってメリットがあるのか。（男性 60代）
- 以前（10年以上前）、私たちの地区では年2回程度、美化運動を実施していたが、現在は実施していない。市からの呼びかけがなくなってから実施しなくなったように思う。美化運動に対し、市がかかわったほうがよいと思う。（男性 60代）
- せっかく整備された景観条例や飼い犬条例などが周知徹底されているとは思えない。地域のしがらみもあり「住民主体のまちづくり」には限界がある。「住みよい住環境づくり」「安心安全のまちづくり」には市役所の強力な発信力や実行力が欠かせないので、「まちづくり課」の設置など積極的な取り組みを望む。（男性 60代）
- 本市場大淵線の新しい道に関連する整備をして住みよい住環境をつくってほしい。伝法地区の下水道整備事業を早くしてほしい。町内の小さな道の整備をしてほしい。（男性 70歳以上）
- 多くの市職員がもっと積極的に地区まちづくり活動にボランティア精神で参加すべきである。（男性 70歳以上）
- 市と地区との連絡を早くしてほしい（災害・台風）。（男性 70歳以上）
- アマチュア無線講座の開催を希望する。若い人たちに参加するよう学校関係者に知らせ、参加費等の負担を考慮し、教材、講師の謝礼負担を少なくすることを、行政は考えたらどうか。長年にわたり道路工事が進んでいない、急ぐべきだ。具体的には富士北まちづくりセンターの東側の道路、富士高校正門前、富士川に至る道路。身近なところを最優先に取り組むべきだ。（男性 70歳以上）

## V 自由意見

- 我々が感じていることやアイデアなどをいつでも提案できる「投書箱」を設置してほしい。職員に直接言いづらいこともある。 (男性 70歳以上)
- 富士市は車がないと生活が難しいまち。もっと気楽に動けるように公共の交通手段を考えてほしい。ふじさんめっせ、市役所、中央病院などへは、車がなければタクシーで行くしかない。何か足りない気がする。 (男性 70歳以上)
- 災害について、災害対策ブックなるものを市でつくってほしい(その地域ごとに)。避難場所、どういった物を備蓄しておけばよいのかなど。 (女性 20代)
- 引っ越したばかりだが、町内会のこと、区長さんがどの家なのか、ゴミ捨て場がどこなのかわからない。引っ越しの手続きの際、役所で町内まで聞かれたので、そのときに町内会長さんの家や民生委員さんの家を教えてくれたらとても助かる。そういうサービスがあると、町内とのつながりも始まりやすいのではないかと思う。地区の連携は大切だと思うので頑張してほしい。 (女性 30代)
- 富士川第一小学校区に児童館や子育て支援センターが全くないことがとても不便。静岡市の施設を利用する機会が多く、同じ地区の子どもたちとの交流の機会が持てずにいる。「地区まちづくり活動」として、子どもたちの交流、親の情報共有の場所をつくってほしい。 (女性 30代)
- 児童や高齢者が危険を感じる道路を減らしてほしい。今泉の西友の前の道路は両サイドに歩道をつくってほしい(横断歩道も)。小学校があるのに危険過ぎる。 (女性 30代)
- 通学路の整備を積極的に進めてほしい。湯沢平から新しい道路に抜けていく部分の林の陰に不審者を見かけている。命の安全を最優先に取り組んでほしい。 (女性 30代)
- 富士山がきれいに見える富士市。もっともっとアピールしてほしい。色々な場所にフォトスポットを設置するなど…。大淵は緑が多くてよい所だけど道が狭い。ダンプカーがとても多く通るので危険。何とかしてほしい。子どもの通学にも危険を感じる。 (女性 30代)
- みなバスや、ステッカーを貼った安全パトロールの車が近所を走っているのを見ると、すごくよいアイデアだと思うし、犯罪防止にもなり、ありがたいことだと思っている。富士市は養護施設、高齢者施設が近くに何か所かあるので、とてもすばらしいと思う。駅周辺しか路線バスが走っていないので、車に乗れない人や、家族に車を運転できるがいけない場合、雨の日など困るのではないかと思う。警察による自転車の乗り方などの交通安全指導も、とても大切だと思うが、交差点に隠れて、一時停止や、携帯電話など違反するのを待っていて捕まえるよりも、もっと悪い人、スピード違反やものすごい音を立ててバイクで2人乗りしている者などをもっと捕まえてほしいと思う。 (女性 40代)
- 富士駅の周辺環境がよくなるよう計画してほしい。また、高齢者が自分で買い物がしやすいお店(スーパー)があると便利。 (女性 50代)
- 住んでいる地区はまちづくり活動で何をしているのか見えてこないなので、市の職員がもう少し間を見て、アドバイスをしてほしいし、住宅地のわりに人と人とのコミュニケーションもなく、市役所に勤務している人が地区にいても、あまり積極的でなく、もっと頑張ってもらいたい。まちづくりセンターももう少し市民が行きやすい場所にあればよいが、市役所で働いている人にはいろいろな情報が伝わってきても、市民には何も聞こえてこないなので、そのあたりから改善の必要があると思う。何を言っても変わらないので期待はしてないが、できたら少しでも小さいことからでも変わればうれしく思う。 (女性 50代)
- 行政の福祉・サービスが周知されていない。困っている人が自分から問い合わせることはなかなか難しい。地域コミュニティを通じてせつかくの福祉が自己満足にならないよう工夫してほしい。 (女性 60代)

- 私は駅南コミュニティ推進会の会員をしている。今日はまちづくりセンター周辺のゴミ拾いをした。気づいたこと。1.側溝が土砂で埋まり、そこから草が出ている。2.舗道の低木(サツキなど)の上につるが絡まり見た目が悪い。3.たばこの吸い殻が多く、住民のモラルの低さ、関心のなさが残念だ。2.3は、自分たちの地域活動で提案し行動できるが、1は交通量も多く危険だ。土砂の取り除きを希望する。地震はいつ起こるかかわからないので、準備や訓練は大切だが、雨は毎年降る。側溝が埋まり、水が流れないことがあれば災害にもつながる。ぜひ一度身近な防災として、側溝の点検をお願いする。近年の雨の降り方は異常だ。災害が起きる前に私たちも協力は惜しまない。調査だけで終わる事のないようにお願いしたい。(女性 60代)
- 地区まちづくりに関係する役員の仕事量は多大なものと思うが、1年では、仕事を知る・前任者の引き継ぎのみで、本領発揮できるのは、2年目だと思われる。2年目で自分のできる方向性が見え、少し進める。その部分が次代の人へのほんのわずかな前進であり、その積み重ねが方向性を示していくものだと思う。任期1年で降りる人が多い昨今、喉元過ぎれば…、1年頭を下げていると解放される…という感はないのか、最近疑問に思う。パソコンのできる公共職員退職者狙いの人事はやめよ！パソコンができなくても適任者はいる。文明の利器をうらむ！(女性 60代)
- 富士市は名前の通り富士山がとてもよく見える場所である。でも残念ながら電線や周りの景観がそれを潰している。せめて富士駅の上から見た風景が一番きれいな富士山だと言われるようになってほしい。趣旨が異なるが市への希望として以前行われていた消毒を再開してほしい。去年デング熱が出て、またことしはマダニによる感染症が心配されている。ペットを飼っている家も多く、また高齢者世帯では家周りの消毒もなかなか難しい。対策をお願いしたい。(女性 60代)
- 町内から市へ依頼した事項はできるだけ早く対応してもらいたい。アスファルト道路の亀裂がひどく、また側溝が傷んでいて水の流れが悪い。道路階段の手すりを依頼して3年過ぎたがいまだ未定…。(女性 70歳以上)
- まちづくりセンターにおいて市役所での対応をなるべくできるように。(女性 70歳以上)
- 市からも地区まちづくり活動に参加してもらおうようにPRしてもらいたい。(女性 年齢不明)
- 市役所にわからないことを電話でたずねる場合、何課についても電話対応はかみなので、もう少し親切に話してくれるとよいと思う。よい職員の方が少ないので、もう少しやわらかく返事するよう市長から皆に指導してほしい。(性別不明 70歳以上)

### 地域コミュニティ団体の運営方法について(32件)

- 土日は夫婦とも仕事なので、なかなか地域の活動に参加できない。最低限、子どものPTAや班長などはやってきたが、したほうがよい活動と、時間がある人が暇つぶしにしているような活動があると思う。(男性 30代)
- 地区まちづくり活動に高齢者が多く貢献してくれ、頼りになる。しかし、若手に引き継ぎたいという話もよく聞く。働きに出ている若手は時間的にも余裕がない。バランスのよい状態が難しい。(男性 30代)
- 高齢者が多く、若い世代が少ない地区なので、役員などがすぐ回ってきて大変だと聞く。やる人がいないのなら、活動縮小も考えるべきではないかと思う。(男性 30代)
- 活動は特定の人(地区役員等)で行われる場合が多いので、全住民が参加しなければならない組織づくりをすることが必要。防災・防犯・交通は直接住民に関することである。1年交代ではなく継続的に行わないとすぐに関心がなくなってしまう。(男性 40代)

## V 自由意見

- 昔はよきにつけ悪しきにつけ、地域の長老がいてその人のもと、かけ声のもとで地域行事が取り仕切られていたと思う。自由の名のもとにそういったリーダー格の人が活動しにくく、まとめにくい風潮になっていると思う。そこから、区長や組長をやる人もいなくなっていて、まとまりのない地域になってしまうと、いざ、大災害が起きたときに困るのではと思う。(男性 50代)
- 役員だけが頑張っている感がある。一般住民の関心をどう引き出すかがポイントであるがなかなか難しい。健康ブームであるので町内に散策コースを作り、住民がそこを散策することで顔見知りが増え、町内活動が円滑にいく一助となると考える。参加させる工夫が必要か。(男性 60代)
- 役員が大変。(男性 60代)
- 今回のまちづくり協議会の設置に疑問を感じる。各団体の他に協議会の会合がふえて10日~15日は夜に会合がある。また、活動においても各団体の活動と協議会の活動がふえてしまった。今後なかなかやってくれる人がいなくなってしまうと思う。生涯学習推進会が地区からなくなって、何が協議会なのか意味がわからない。再考を望む。(男性 60代)
- ネガティブな考えかもしれないが、町内会主催(市及び地区)行事が、昔に比べ多く、サラリーマン(65歳未満)共働き世帯にある者の町内三役などの役員選出が、若者に移行しており負担がある。定年前での町内会長などは、行事が多いため仕事をやめなければならないと感じ不安がある。(男性 60代)
- まちづくりセンターを中心とした活動をする地区まちづくり推進会及び協議会の組織を建設的に改変し、各地区で自由に使えるお金を交付する新制度、地域の力こぶ事業(使途自由交付金制度)を考えてはどうか。(男性 60代)
- 地域の方々が年をとり、いろいろな活動ができなくなっている。班が続くか不安だ。また1人暮らしが多く、活動できない。若い人たちが建て売り住宅に来てくれたが、隣の班へ行くよう言うてしまう人がいた。他の地域の人たちはどうしているのか。(男性 60代)
- 人員構成や各個人の意識の多様化で昔のソフト事業は参考にならない。だが現状は、高齢者が役職を占めており活性化はほど遠い。これでは若年層がイベントから離れてしまうと思われる。新しい時代は若年層の参画が重要で、古い考えが正しいと思っている指導者と順次入れかえる工夫が必要と思う。(男性 70歳以上)
- 町内会長を受けてくれる人がなかなかいない。高齢者世帯が増加し、町内会活動が非常に難しくなっている。(男性 70歳以上)
- 活動といっても住民の高齢化で、役員のなり手がなくなる。市役所にもっと活動の負担をしてもらってもいいのでは。中には無駄と思うものもいろいろあるので、もっと簡略化した方がいいのではないか。(男性 70歳以上)
- 後継者がいない(育たないのか育てていないのか)のが現状だ。すでに10~20年以上地区の役員を受けている人が多い(受けざるを得ない)。できれば地区、地域の人ができるだけ役に携わることに期待したい。役員任せにするのではなく、地域の皆が役員のような気持ちで参加できるようなPRが必要。役員は全員が好きでやっている人ばかりではない。もちろんトップに立つ2人は人をリードするわけだから、それなりの知名度や肩書が必要かもしれないが、また、何年も同じ行事や活動をしているが、今後の少子化問題を考えるとこの先見直す時期がくるかもしれない。現ベテランの役員が在職中に1つか2つの案を考えていたほうが無難だと思う。(男性 70歳以上)
- 同じ人がいつまでも町内会、各種団体などの役職をしているため、新しい人が参加しづらい。(男性 70歳以上)

- 関心はあっても、実際活動に参加する機会を持っていない人は多いと思う。肩書だけではなく、どの市民にも役割を与えて、参加の場をつくり、仕事の都合や私的用事で参加できない人がいても、行けるときに気軽に参加できるような中で、気負わず誰もが地域のために何らかの行動をすることにより、そういった関係のコミュニケーションも広がって、もっと活発になっていくと思う。団塊の世代はそういった活動に積極的で、生き生きとしている。よいお手本と考える。 (女性 30代)
- 今住んでいるエリアで班長をやったとき、区費を集めて納めに行くのだが、区の役員たちは定年後の時間のある人ばかりで、若い人に対して非常に冷たい上に、会議に参加できないことを怒られた。やりたくもない班長をやらされ、仕事で東京に行っていてなかなか帰れないという事情があるだけなのだが。会議といっても、正直無駄にしか感じないし、そもそも区費が活用されている実感が皆無。早くこんなところは出たいと思っている。松岡の区費は、いつ何にいくら使われているのか。何かを修理した、新しいものに変えたなどあるのであれば、その前後の写真を証拠とし、いくら使ったのかまで明記して知らせるべきではないのか。他の班長から松岡の資産がすごく多額であると聞いた。 (女性 30代)
- 地区まちづくり活動はほとんどその年の町内会長の意向で決定されてしまう。防災には力を入れているのに防犯やごみなどの問題については後回しになっている。町内会長を評価する住民以外の第三者的な立場の人が欲しい。 (女性 40代)
- 役員のなり手がいないため、同じ人が繰り返し引き受けたり、半ば強引に押しつけられたりすることが多々ある。会合などが多かたりして役員の負担が重い場合もあるので、もう少し活動を見直す必要もあるのではないかと。 (女性 40代)
- 町内会の集まりが多過ぎる。資金集めが強制的なものもある。資金の内訳に違和感があるものもある。広報紙など情報紙の回数をもっと減らしてもよい気がする。 (女性 40代)
- 地区まちづくり活動に2年間参加したことがあったが、主になってやっている人は大変だろうなと思った。特に後継者の問題は難しい。長くかかると次から次へと依頼がありそうで、それ以来積極的な参加をしていない。でも地域の行事に参加したり、人間関係もできたりとよいこともあった。地区まちづくり活動は必要だと思う。参加している人たちの大変さを思うと、もっと参加すべきだといつも思うが…。 (女性 50代)
- 地区まちづくり活動は高齢の住民が中心となって企画運営をしているのが現状だと思っている。若い世代は仕事や子育てなどで忙しいので助けられている部分は多いのだが、若い人が入りやすい環境になり、世代を超えてまちづくりについて話し合い、活動をしていける地域になる事を望む。 (女性 50代)
- 役員の人選に苦労している。仕事を休んでまでの活動を求められると引き受け手がいない。きずなづくりのためとはいえ、旧態依然としたイベントは参加しにくい。 (女性 50代)
- 高齢者が多くなり役員をしてくれる人が少なくなっているので困っている。 (女性 50代)
- 役員の負担が重い。「やらされている」感も否めない。嫌らしい話になってしまうが、報酬などがあれば、モチベーションも上がると思う。ボランティアなど、住民の好意や自主性に頼ってばかりでは、人は動かないと感じる。昔はそれで回っていたことが、今は難しいのは仕方のないことである。 (女性 50代)
- 地区の話し合いでは、若い人や、地区に入ったばかりの人は意見が出しにくく、一方的に役割が決定されている。匿名で広くアンケートをとるなど、多くの人の意見も取り入れてくれるとよいと思う。 (女性 60代)

## V 自由意見

- 若い人たちが、活動に関心を持ち、活動しやすい環境をつくる必要があると思う。(女性 60代)
- 年齢的に、仕事を持っていると余裕がなく活動が制限される。地域活動は、仕事のない高齢者や地区議員、町内会が中心とならざるを得ない。(女性 60代)
- 若い人たちが自由に発信のできる地区になるともっとよいと思う。(女性 60代)
- 公会堂の整備、充実。周囲の声かけ。ボスをつくらない。皆で話し合っやっていく。誰でも気軽に参加できる活動を。(女性 70歳以上)
- 松野地区まちづくりセンターの地区住民である。名称は変わっているが、人材がいつも同じ人で変わらず、発展がないように思う。どの部もしっかりと任期を守り改選していただきたい。理由は古い人たちが続けていると新しい人が入れないため。NPO法人ほか、市から援助されている団体の会計報告はどうなっているのか。市民全体に知らせることはできないのか。民生委員はどこまでの仕事を与えられているのか。期間が長くはないが、市役所などに勤務した人が多いようだが、各役職の報酬などどうなっているのか、近隣の集会で出た疑問である。(女性 70歳以上)

### これからのまちづくりについて(27件)

---

---

- 地区の活動では、いわゆる「昔からの…」と呼ばれる地域に長く住んでいる住民や高齢者を中心に行われている印象がある。問27で「民間サービス」としたのは、住居の出入りが昔よりふえてきたことで、地区のサービスのいくらかを民間(第三者)が担うことで、客観性、透明性が生まれると思ったからだ。昔からのつながりとともに、ものによっては新しいものも取り入れて、次を担う若者層が参加しやすくすることも必要かと思う。(男性 30代)
- 生まれも育ちも富士市ではない県外出身者には、地域のよさも見える反面、悪い面や今の時代に即していない面も見えているので、そういう声にも耳を傾けてもらいたい。(男性 40代)
- 二世帯、三世帯で生活していたが、若い人たちが自宅を離れ、地域に子どもたちの姿が少なくなっている。若い家族と高齢者の夫婦がともに生活しやすいまちづくり。(男性 50代)
- 地区のまちづくりについて日ごろ考えたことがない。(男性 50代)
- 数年前に富士市に転入してきたが、車がないと生活が不便なことに驚いた(駅前にコンビニひとつないし、駅前はシャッター商店街)。コミュニティバスを利用しないと医者にも行けないが、駅まで歩くのに30分ほどかかるので、コミュニティバスの停留所をふやしてほしい。同時にコミュニティバスが1時間とか、1時間半に1本では不便きわまりなく、障害者に優しいまちとは言えない(当然高齢者にも)。コミュニティバスは医者があるところなどを回るか、大型店(イオン、ニトリ、スーパーなど)を回るバスも望みたい。また運行終了時刻が早過ぎる。(男性 60代)
- 私は沼津市に約40年在住していて、富士市に来て27年以上になる。都市の比較はできないが、沼津は35年前から私の年代が商店街(主にアーケード、仲見世)の青年会として地道に客を呼べる町おこしの活動に取り組み、商工会議所を動かし、市が賛同して毎年4月から8月まで月ごとのビッグイベントを開催している。特に県外からの来訪者を多く見かける。富士市民として、旧富士市と旧吉原市の2つのまちが同時活動化(まちづくり)することが理想ではあるが、沼津市のように子どもから大人まで家族が本当に気軽に参加できるイベントを考え、20~30年をかけて都市・まちづくりを計画してほしい。(男性 60代)

- 富士山について、各地区の富士山写真展をやり、その地区ならではのビューポイントを競いあう。吉原祇園祭り、毘沙門天、田子の浦港、花火大会などを富士山静岡空港などの乗降客にアピールして、宿泊客を富士市に呼び込む。富士山女子駅伝に台湾・中国の大学を招待する。  
(男性 60代)
- 耕作放棄農地、荒廃山林、高齢世帯の増加、若者の転出等どれも緊急課題だ。まちづくり活動が「的外れ」のように思える。高齢者世帯で維持できる土地政策が必要。農地集積で若者が就業することではなく、“適性のある植栽の調査と高齢者にも可能な産物の選択”を繰り返し、地域特性のある物を絞り込み、耕作放棄地、荒廃山林の再生、高齢者の健康推進を行うことが重要と思う。  
(男性 70歳以上)
- 富士市は新幹線を利用して首都圏に通勤できること、移住の補助があることなどを、もっとアピールして人口増加の取り組みを強化できないかと考える。人口減少が一番心配である。  
(男性 70歳以上)
- 高齢者・障害者がもっと暮らしやすい富士市になってほしい。コミュニティバスをもっともっとふやしてほしい。年末年始等、医療センターだけでなく、救急病院を地区にも設定してほしい。  
(女性 20代)
- 福祉活動について、これから高齢化がどんどん進むことによって、さまざまな問題が起こると思う。インターネットで見た記事だが、アメリカのシアトルでは高齢者と子どもたちが触れ合う機会を持つように、介護施設の中に、幼稚園を併設したそう。現在、アメリカでは約43%の高齢者が社会からの孤立を感じていると言われている。日本では2014年12月に行われた内閣府の調査から、ひとり暮らしの高齢者の4割強が「孤独死」を身近に感じているという結果が出ており、問題視されている。富士市でもぜひこの取り組みを始めてはどうかと思う。ユーチューブで実際の動画を見ることができる。  
(女性 20代)
- 一人一人が少しでも住みよいまちになるために関心をもつことが必要な気がする。(女性 30代)
- 子どものために防犯カメラを設置してほしい。連れ去りや何があるかわからないから、安心して子どもが遊べるようにしてほしい。  
(女性 30代)
- 公共交通機関を使う際、アクセスが悪く特に新富士駅から富士駅までの間など本当に不便に感じる(ベビーカーなどを持っているとき)。身延線の新富士駅につなげるなどできないか。富士駅前の商店街がシャッター街になってしまって寂しい。子ども連れでも入れるカフェ・雑貨屋など、人が集まるお店を呼び込んでほしい。  
(女性 30代)
- 地方都市は自然な人口増加が期待しにくいので、外国人の住みやすい街として欧米諸国などからも移住者が多く来るようなまちづくりをしてほしい。  
(女性 40代)
- 神戸地区に住んでいるが、新東名の開通により大きい道路が整備され交通の便が非常によくなったと思っている。また、富士市は唯一東名や新東名のインターチェンジが市街地から近いため、県外の人を招くのに効率がよいと思う。自然破壊や景観が悪くなるといったデメリットもあるが、ショッピングモールの誘致やライブハウス、全国のB級グルメが常時飲食できる施設を建設してはどうか。海から望む富士山の景観もすばらしいが、山からの駿河湾の眺めもよい。若い人を取り込むことにより、人口の流出を防ぎ、雇用率も上がるのではないか。はっきり言って、富士市には全国に誇れるものが見当たらない。他力本願でも、富士市を盛り上げる方法はあるのではないか。神戸地区は御殿場方面からのアクセスもよいと思う。  
(女性 40代)
- 障害者の人たちが伸び伸びと住めるまちづくりにしてほしい。障害者の人たちにとって、いじめのないまちづくりをしてほしい。  
(女性 40代)

## V 自由意見

- 大淵に住んで 10 年になるが、道路の整備がされていないことと交通の便が悪いこと。富士山がとても美しく見える土地なのに、電線や街並みが美しくなく残念だ。中高生が通学する道路も車道のみで危険だ。住む人も土地も好きだが、環境的（教育も）には全く魅力がない。（女性 40 代）
- 住みよくするために、小さな意見をとりあげてもらえる場があるとよい。例えば、近所の今まで狭かった道路が広がったのだが、広がった途端、自動車が多く通るようになり、一旦停止もせず、ウインカーも出さずに通過していく。私たちは困ったねえ…しか言えないし、こんな声を簡単に拾ってくれるところはないだろうか。富士市は街路樹があまりなく、あっても背の低いものばかり、夏に緑があれば日陰にもなるし、車社会のせいも少し寂しい。（女性 50 代）
- 商店街に、あまり買い物客がなく活気がない。花ポットなど道路沿いに飾り明るいイメージをつくりたい。私の地区にはひとり暮らしの高齢者が多い。元気な人もいるが、孤独な人のために空き店舗を談話室にして誰でも利用できるようにすれば友達もつくれ、悩みなども相談できるなど、よいコミュニケーションの場になると思う。（女性 50 代）
- 富士駅周辺の活性化を望む！！（女性 60 代）
- 市職員を減らすことが一番必要である。あまりにも民間企業に比べ無駄が多いと感じる。市でやらなくてもすむことをやり過ぎている。高齢者で過去に民間企業で活躍した人たちがたくさんいる。ボランティア感覚の手当で十分有意義な仕事をしてくれる。市職員が担当する必要がない「まちづくりセンター」にしよう。（女性 60 代）
- 日々が忙し過ぎて、地区活動などは、最低限の参加しかできていないが、富士市に移ってきての最初の印象はよくなかったし、田舎的なお互い様という言葉もあまりなく、20 年以上がたった。世の中のスピードが速いのに富士市はゆっくり過ぎるような感じだが、LGBTとか高齢者の問題とか商店街の問題とか、富士市の活動はNHKのテレビの中でも見えてこず、掛川、浜松等に比べPRに乗り遅れているような感じである。富士山があるだけのまちではないはずだ。（女性 60 代）
- 富士山が正面に見える富士本町通りがシャッター通りで寂しい限りである。富士市で育った私としては活気のあった昔が懐かしい。難しい問題だと思うが、これからの世代のためにも努力してほしい。（女性 70 歳以上）
- 久しぶりに富士本町の通りを車で通った。シャッターがおろされた店が半分以上あったようで、寂しい街並みだった。「富士山」の富士の名が使われているのに、活気がないのはもったいない気がする。先日テレビで製品アイデアを考えるグループが不況の中小企業を救ったという内容の番組が放送されていた。富士市はすばらしいと思った。本町通りのことも、議題に出ているかもしれない。（女性 70 歳以上）
- まちづくりセンターを使う人は常に使用していて、使わない人はいつも使用しない。情報の伝え方が決まった人に常に一方通行なのではマンネリ化しないか。同じ人が役員になり、使う人のみの情報網になっている。原点に戻り、まず富士市のよい所、昔からの富士市の誇れる所を幼稚園、小学校で学習し、富士市民がこの町の市民でよかった、富士市民はすばらしいと思えば、今度はどんなことが楽しめるのかなど、老若男女、ワクワクするようになるのではないか。昔からの引き継ぎではつまらない。市民が自分から市のためになろうと思わないと。世界遺産のある富士山のもと、全国がさすが日本一と思う富士市にしてほしい。赤ちゃんのいる家、外出できない高齢者の家にこちらから出向いてみては。富士市長殿へ。世界遺産に出遅れている富士市へ。左富士という名所の西側に旧利久製紙のもう 20 年位使われていない土地があるが、そこから見る富士山は最高なので、海から歩いてきた旅人向けに温泉施設などをつくれればバッチリだと思う。富士市に多いパチンコ店の近くで、立地は大変よいと思う。（性別不明 60 代）
- 児童会館的な部屋があればと思う。児童が好きに本を読めて、その場で宿題もできるような場所が欲しい。ゲーム、スマホから少し遠ざかるように。（性別不明 70 歳以上）

## 地域コミュニティ活動の周知について(18件)

- 「地区まちづくり活動」が実際どういう活動をしているのかぴんとこないのもっと周知してほしい。(男性 20代)
- 一番は市民に活動の存在を多く知らせることだと思う。インターネットだとキーワードを入力し検索しないといけませんが、ポスターやチラシなら何げなく目に入ってくるので有効だと思う。(男性 30代)
- イベントの誘致や告知を積極的にしてほしい。時々気がついたら終わっていることがあるので。(男性 30代)
- 意外と各種講座などの情報が知らされていないので、広報活動に力を入れるべきだと思う。インターネットを使った情報発信力が弱いと感じた。(男性 30代)
- 情報量が少ないと思う。例えばテレビで富士市内のことが取り上げられている場合、見たい住民は多いと思うし、視聴を通して地元のことを知るきっかけにもなると思うが、そういった情報に触れられずに過ぎてしまうことが多い。また広報紙や新聞以外にも調べたいときに調べやすい方法が必要だと思う。(男性 40代)
- 自分が住んでいる地区で、現在どのような活動・取り組みなどが行われているのか、正直わかりづらい。普段は仕事で、休日は家族サービスをしているとなかなか情報を入手しにくい。(男性 40代)
- 仕事が忙しくほとんど参加できない。休日にも対応できるよう情報発信をしてほしい。(男性 50代)
- 日々の生活に忙しく、はっきりいってわからない部分が多い。もっともっとアナウンスをして内容を広めてもらいたいと思う。(男性 50代)
- 参加する人、しない人が極端である。もっと内容を客観的でもよいのでPRしてほしい。知らなければ始まらない人々が多くいる。参加したいができない。(男性 60代)
- 1. 「地区まちづくり活動」の全市での活動事例発表会(報告会)の開催があれば(あるかもしれないが)参加してみたい。スタッフに負担がかからない方法で行う事が重要。課題抽出型のミーティング方式でもよいと思う。2. 地域コミュニティ活動(地域まちづくりセンター)のオープン活動ができるよう「ロビー形式」をとり入れることも必要。3. 高齢化社会における活動はどうあるべきか検討を要す。(区の自主活動活性化と他区との連携)(男性 70歳以上)
- いまひとつ何がまちづくり活動なのかわからない。知る機会もないのもう少し大きく宣伝してもらいたい。(女性 20代)
- まちづくり活動に関して全く知らなかったのもっとPR活動が必要なのではないかと思う。(女性 20代)
- 「地区まちづくり活動」をこのアンケートで初めて知った。具体的にどんなことをして、どこで情報を得るのか今のところわからない。小学校区を最小単位として細かなサービスを提供しつつ、市全体でそれぞれの地区の情報をまとめて見やすい形で発信すれば、活動に参加しやすいと思う。(女性 20代)
- 引っ越してきたばかりなので、こういった活動がなされているのか現在のところ全く知らない。吉原祇園祭くらい大々的にポスターを貼ってあったりするとわかりやすいが、目に入るところに情報が入ってこないのも答えづらい部分が多かった。(女性 20代)

## V 自由意見

- 何をしているかわからない。活動が伝わりにくい。窓口があっても、ドアが開かれていない（親切さが足りず、地域のためにという心が伝わらない）。ひとり暮らしの人を把握してもらいたい。まちの一つ一つを知ってもらいたい。小さなまちなのだから、もっと顔がわかるとよい。  
(女性 30代)
- 私は今の地域に引っ越してからまだそう長くなく、また子どもも小さいため具体的なまちづくり活動の実態がいまひとつよくわかってない。子どもの成長に合わせ、地域の活動にも積極的に参加していきたいとは考えている。ただ実際こちらからアプローチして活動に興味を持たないとどんな活動があるかなど、全くわからない状態だと思うので、もっとPR活動が盛んに行われてもよいのではないかと感じる。参加したくても一歩踏み出すのにちゅうちょしている人も少なくないのではないかと思う。  
(女性 30代)
- もっと広くて開放感のある建物で、図書館やカフェの併設など、広い年齢層の利用が可能になるようすれば、核家族がふえる中、高齢者と子どもの接点ができる場所になってよいのではないかと思う。また、先日テレビで見たが、“子ども食堂”とあって、子どもたちが安く気軽に入れる食堂の特集があった。シルバーさんなど、元気な高齢者の方々に、場所の提供をしてもらい昔ながらの健康的な和食など出してもらったりしてもよいのではないかと思う。  
(女性 40代)
- 広報ふじで地域の活動などを知ることができ、大変助かっている。インターネットなどの情報発信があれば、もっといろいろな活動を教えてもらえて、もっと自分の参加できる活動がわかり、楽しみもふえると思う。  
(女性 60代)

## 地域内などの交流について(17件)

---

- 隣近所の名前や顔を知っている人は少ない。高齢者で時間的余裕がある人が多いと思うので、それらの人を登用（知識、経験が豊富だから）。ただ古くから住んでいる人中心ではだめだと思う。公平負担、公平分配の原則が最も重要である。5～6回住所を移したが、現在の地区は他地区と比べて近隣に無関心であり驚いている。  
(男性 40代)
- 私の住んでいる地域は、近所とのつき合いも古く、いろいろなことを協力して行っている。ただ、若い人が少なく、今後、どうなっていくのかが心配だ。  
(男性 40代)
- 私の住んでいる丘地区は、市内の中では新興住宅地であり、地区まちづくり活動により、まとまりのある地域へ発展してきたと思う。最近では茶畑などの農地が見られなくなり、ますます宅地化が進んでいるので、地域内のコミュニティをはじめ、災害などが発生したときに協力しあえるまちづくりが重要と考える。  
(男性 50代)
- 千葉から富士市にきて20年ほどになるが、昔からの根深いつながりがある。新しく富士市に来た人が入りやすいコミュニティづくりが必要かと思う。  
(男性 50代)
- 地域住民とのコミュニケーションを生かして防災に役立てる。  
(男性 70歳以上)
- 大人から積極的にあいさつをする、笑顔で声をかけ合う、を心がけている。非常時に大事なのは日常からの備えなどということがわかった。それと同時に日常の暮らしが大切である。市役所の1階の食堂がコンビニになっているが、身体によいバランスのよい食事を役所の方に食べてもらいたい。そんな風にも思っている。  
(女性 40代)
- 在職中は、日々の暮らしに忙しく、地域のことに気が回らなかった。何かしら、つながりが持てる活動があるとよいと思う。道で行き交う人と、知り合いでなくても挨拶ぐらいはできる、そんな地区になるとよい。  
(女性 50代)

- 私の住んでいる地域はコミュニティが活発な地域だと思う。役員さんもよくやってくれている。私も役員さんのお手伝いできればと思うが、現実には忙しくてなかなかまちづくりセンターへも出向いて行けない。災害時はなるべく皆さんのお手伝いができるよう心がけていきたい。

(女性 50代)
- 地区での交流の機会をつくってほしい。老若男女参加できる催し物の計画をお願いしたい。

(女性 50代)
- 誰もが安全に安心して暮らせる社会であることを願っている。その中で、高齢のご夫婦で暮らしている世帯や、ひとり暮らしの高齢者、老老介護をされていて行政からの手助けを受けられていない世帯など、行政がどこまで把握しているのかわからないが、例えば、地区の80歳以上の人がどのように暮らしているのかなど、まちの人たちが関心を持ち、支えあっていけるような地区になればよいと思っている。

(女性 50代)
- まちづくり活動に関係するのかわからないが、平日の昼間にカラオケに行くと、高齢者のグループで利用している姿をよく見かけ、私の組合の高齢者も何人かでカラオケボックスに割り勘でタクシーを利用して行くことを計画していた。その姿がとても楽しそうなので、カラオケボックスをお年寄りがもっともっと身近に利用できるようになれば、もっともっと元気でいられるようになる気がした。

(女性 50代)
- 今は夫婦とも仕事をしているため、なかなかまちづくり活動に目を向けられない。でもリタイアしてから参加できるかという、ちょっと無理な気がする。大淵は昔からの住民と新しい住民の意識の差があるのかなと思う。

(女性 60代)
- 雨や風の強い日でも、小学生の安全のため交通整理をやっている人がいる。とてもよいことだと思っている。新しい家ができて若い人がふえたが、最近の方は挨拶回りもしないし、行事にも参加しない。大変なのかも。ごみ置き場もだらしなくなっている。

(女性 60代)
- 各町内が連携して、動いてくれているので安心だ。自分たちも参加、協力していきたいと思う。緊急時にも慌てず周りに気配りし、行動できるよう心がけたいと思う。

(女性 60代)
- 地域活動は夫が積極的に行っているが、私自身は地域のことはよくわからない。ただ、昔と違って近所づき合いが難しくなっている。まず近所づき合いが気楽にできる地域づくりが大事ではないか。地区まちづくり活動は近所づき合いの活性化からスタートすればよいのではないかと思う。

(女性 60代)
- ひとり暮らしの高齢者宅に非常ベルを設置してほしい。自己負担でもよい。地区別古紙収集は各家の前に出せばよしとしてほしい。(足が不自由なので)

(女性 70歳以上)
- 少子高齢化が進んでいくので、居住地域の住民同士のコミュニケーションの強化を日常的に進めるための方策を自治体も各地域の町内会も考えて、推進していくことが大切である。ひとり暮らし世帯への見守り、声かけ運動の組織化。子どもたちを地域で見守る組織づくり。地域(町内会)と行政(社会福祉協議会も含む)の連携強化。

(女性 70歳以上)

## その他(23件)

---

- 地区ごとのホームページを作成する。

(男性 40代)
- 一例として、アパートのごみ置き場が片づかないのがよく目立つこと。

(男性 40代)
- 困っている人は助けてあげてほしい。

(男性 40代)

## V 自由意見

- 富士駅北の交流プラザ前の芝広場での夏季限定のビアガーデンの営業。子どもと休みの日にバスや電車で出かけたり、バス、電車の乗り方を勉強させたりしたいので、富士急バスと岳南電車乗り放題フリーキップの販売を希望する。 (男性 40代)
- グルメマップとウォーキングコースマップをつくってほしい。 (男性 40代)
- 地区まちづくり活動は、ほぼできないから、答えられない。 (男性 50代)
- ひとりの暴走族は警察の多大な努力によって少なくなったが、一方、普通(?)の運転者のマナーが非常に悪くなった気がする。暴走族は反面教師だったのか。特に高校生や中学生の自転車の運転がひどすぎる。平気で後方確認もせず、いきなり走行中に道を横切られたら、たまったものではない。自分がまともだと思っている困った連中がふえたように思う。 (男性 50代)
- 高齢時代になっていくので、高齢者の移動手段への対策に取り組むべきだと思う。 (男性 60代)
- 河川や道路へのごみ(たばこ、缶、ペットボトル…)がひどい。きれいな河川、きれいな道路を目指すべき。ひいてはきれいな富士市にしたい。 (男性 60代)
- 健康に対する運動とか脳によい食べ物を具体的に書いたチラシなどを配ってもらいたい。このようなものは便秘によいとか、血液をサラサラにする食べ物などを書いたチラシを作成してもらいたい。 (男性 60代)
- 各家庭の樹木や垣根、荒れ地の草などが歩道にはみ出ているのが多く見られる。特に通学路などは危険だ。所有者がしっかり、安全な歩道を確保できるようにしてほしいと思う。同報無線の放送、町内会、区の呼びかけで、富士市民全体で安全な歩道を確保しよう。 (男性 60代)
- 地区まちづくり活動についてよくわからないし、知識がない。市が何をしているのか情報を知る方法を知らない私が悪いのかも。 (男性 60代)
- 道幅の狭い道路の拡張。 (男性 60代)
- 区の防災役員をしているが、災害時の備蓄品の量がとても少ないと考えている。各区だけでなく(駅南とか駅北とか)水戸島中区とか細かい地区での備蓄を義務づけないととてももたない。また、消火用の水源として水道はだめとなると河川になるが、側溝のふたをビスどめしてあかなくしてあるため、災害時も使えない。盗難の心配もあるがあけて使えるような設備、一部をあけて消火用ホースが入る仕様にすれば、ビスどめしてもよいのだが。コスト増でも使えないふたよりはよい。 (男性 70歳以上)
- 朝市(安値で安全に購入できる施設)があるとよい。 (女性 30代)
- まちづくりのアイデアとは違うが、結構バスに乗る人がいて、数も少ないし、困っている人が多いので、バスの本数をふやしてみんなが困らないでバスに乗れるようにしてほしい。本当にみんな困っているなので、市長に伝えてほしい。 (女性 40代)
- 殺処分されていく犬や猫をなくしてほしい。猟友会もなくしてほしい。動物を殺さないでほしい。殺処分ゼロの富士市、静岡県、日本をつくってほしい。勝手な人間ばかり生きていて動物が殺されていくのはおかしい。 (女性 40代)
- 富士市のはずれの松野に住んでいる。今は車を運転するのでよいのだが、市内に行くにはとても不便だ。松野までコミュニティバスを走らせてほしい。 (女性 50代)
- 地域のイベントのとき、周りに駐車場をふやしてほしいと思う。 (女性 60代)

- 文化祭などの決まりが年々厳しくなっていると思う。 (女性 60代)
- まちづくりセンターまでのバス交通。 (女性 70歳以上)
- 活動の場所として学校を利用する場合、トイレがほとんど和式のため、ひざの悪い私は大変である。全部洋式にかえてほしい。 (女性 70歳以上)
- 現在70歳を過ぎた。夫婦2人生活で、とにかく家が古いし今は地震が怖いと思っている。まちづくりとか協力とかいうより、とにかく我が身が病気をせず、元気で暮らしていけるようにしか考えていない。年金などもこれ以上下がらないようにしてほしい。あとは若い人たちにお任せする。 (女性 70歳以上)